

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 2 年 2 月 6 日

事業所名 独立行政法人国立病院機構 南九州病院 保護者等数(児童数) 1名 回収数 1人 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか		1			利用者が少なくても スタッフ数を減らさない でほしい	人数が少ない日にお休 みをいただいたりするこ ともあるため、そう感じられ ることもあると思います。 スタッフを減らしても支障 が生じないようにはして います。適切な配置数を 遵守していきたいと思 います。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか		1			加湿対策をしてほしい 湿度が低いと鼻水(分 泌物)が増え、処理が 難しくなり、最悪の場合 肺炎になってしまうから	湿度計を設置し、濡れタ オルや霧吹きを使って加 湿しています。利用者の 近くで加湿できるような工 夫をしていきたいと思 います。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	1					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1					
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか		1			・歌等の音楽、絵本等 を増やしてほしい ・色々なものを触って身 体に刺激を与えてほし い	いろいろな感覚刺激や体 験をしていただけるよう 、療育物品にも工夫して いきたいと思 います。また、 ご意見やご要望をいた だきながら日中活動支 援をさせていただきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		1			・たまに加治木養護学 校に連れていってもら う機会があり嬉しい ・利用者が少ない時は 病棟の療育と一緒にで きたら嬉しいです	他病棟との児童の合同 療育は以前は実施して いましたが、児童数の減 少により現在は行って いません。再検討させ ていただきたいと思 います。
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか		1				運営規程や利用者負担 については、入所時に説 明をさせていただいて いますが、再度丁寧な説 明ができる機会を作っ ていきたいと思 います。ご質 問やご意見がございま したら、ご遠慮なくお尋 ねください。	

保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	1				児童発達支援ガイドラインに基づいて個別支援計画を作成していますが、それについての説明が不十分だったので、今後、説明できるようにしていきたいと思います。	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	1				プログラムとしては実施しておりませんが、保護者さんとのコミュニケーションを大切にしたいと考えています。	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	1					
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1					
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1				・遠方の方等の参加が難しいため、会長の負担が大きと思う。何か行事があっても出席が少ないので親の会のあり方や院外活動、院内活動を変えていった方が良いと思います。	スタッフができるところはお手伝いさせていただき、負担軽減を図り連携を図っていききたいと思います。また、院外活動などの行事についても保護者会のご意見も踏まえ検討していきたいと思っています。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1					
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1				・すまいるだよりが数年前より減り活動している写真を見る機会が減ったのは淋しいです。	誕生会と年度末にお渡しする写真の量を増やし、療育の様子や表情などを見ていただけるようにしたいと思います。いただいたご意見を参考にして情報発信していきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	1					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	1					
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1					
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	1				・通える日数が多く、健常の子たちと同じくらい行く場所があり、鍛えられました。家から外に出る楽しさを感じてくれると思います。	たくさん通所していただきありがとうございます。笑顔がみられるような療育を今後も提供していけたらと思います。
	23	事業所の支援に満足しているか	1				「移動支援がないと車の乗降が難しく利用ができない」という利用者も増え、利用人数が少なく、人との関わりがなくなり、他にいないなら家でご飯を食べたり家族で買い物に行った方が、この子の刺激になるんじゃないかなと思います。	利用人数が減少している現状もあるため、今後、利用者増へ向けての検討をしていきたいと考えています。人との関わりや多くの刺激を体験していただけるよう工夫していきたいと思っています。貴重なご意見ありがとうございます。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。